

「通訳翻訳研究所」定例講演会第六回  
《翻訳》を究めるための  
文体論 (Stylistics) の視点と英語の理解

愛知県立大学は平成 28 年 4 月に国公立大学においては稀有な「通訳翻訳研究所」を開設し、順調に活動三年目を迎えました。これも学内外の皆さまのご協力あればこそと、衷心より感謝申し上げます。さて、本年度の定例講演会第三弾として、文体論研究の第一人者として名高い今林修教授（広島大学大学院文学研究科）を講師にお招きし、文学研究の一環としての固定観念から脱して、英語教育との関連（応用言語学）においても注目を集める文体論 (Stylistics) のアプローチによる英語理解についてお話を伺える運びとなりました。指定対象学生の他にも定員（80 名）までは参加可能です（一般公開）。興味があれば、ぜひご来聴ください。

平成 31 年 1 月 5 日 研究所長 大森裕實

【講演要旨】

私たち日本人の多くは英語を母語としないからこそ、《翻訳》という知的な作業を通して英語を楽しむことができるのではなかろうか。《翻訳》することと英語を深く理解し味わうこととの間には、一体どのような関係があるのだろうか。この間に、文体論による新たな切り口を見つけ出すことができればと考えている。

日時 平成 31 年 1 月 30 日（水）13：00～15：00  
（講義 100 分＋Q&A's / Free Talk 20 分）



会場 愛知県立大学 学術文化交流センター（2F 小ホール）

内容 講演 —— “《翻訳》を究めるための文体論 (Stylistics) の視点と英語の理解”

講師 今林 修 （広島大学大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座 教授）  
※編著『英語のスタイル—教えるための文体論入門』（2017）は好評

司会 大森裕實（研究所長／本学教授）

対象 外国語学部 EIC コース履修生／外国語学部通訳技法・翻訳技法履修生／  
大学院国際文化研究科英語高度専門職業人コース履修生  
※その他ご興味のある方はご自由にご参加ください（一般公開）

参加 参加費無料，事前予約不要（定員 80 名）  
申込 ※プログラム詳細については、愛知県立大学 HP ポータルサイト  
<http://www.aichi-pu.ac.jp> から本研究所ウェブでご確認ください



主催 愛知県立大学 通訳翻訳研究所

お問合せは E-mail で通訳翻訳研究所 (IITsince2016@for.aichi-pu.ac.jp) まで  
TEL：0561-76-8824（学務課 [研究所担当] 阿部）  
FAX：0561-64-1107（文系教員センター共用）